

2021年7月28日

株式会社 TBM

報道関係社各位

## 東京ドームシティで使用済みプラスチックを再生した「CirculeX ごみ袋」を採用 ～レジャー施設におけるマテリアルリサイクルを通じたサーキュラー・エコノミーの実現を目指す～

株式会社 TBM（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、株式会社東京ドーム（本社：東京都文京区、代表取締役社長：長岡勤、以下東京ドーム）が運営する東京ドームシティ内で使用のごみ袋に、使用済みペットボトルキャップとストレッチフィルムを使用した「CirculeX（サーキュレックス）ごみ袋」が採用されたことをお知らせいたします。

CirculeX ごみ袋は、材料に国内の使用済みストレッチフィルムとペットボトルキャップを使用することでバージン材料の利用を最小限に抑え、海外ではなく国内で製造することにより、再生材料不使用の海外品と比較し、CO<sub>2</sub> 排出量を削減できます。CirculeX ごみ袋の原料となるペットボトルキャップは、東京ドームシティに設置されたペットボトルキャップ回収ボックスにて回収されたものを使用予定です。今後、TBM と東京ドームは協働し、レジャー施設におけるマテリアルリサイクルを通じたサーキュラー・エコノミーの実現を目指して参ります。

# T B M

## Material Recycling at Amusement Park

東京ドームで CirculeX ごみ袋採用



### ■ 背景

近年、有害廃棄物の輸出入を規定する国際条約「バーゼル条約」により、自国内でのリサイクル等による資源循環の必要性が高まっています。日本では、政府による「プラスチック資源循環戦略」が発表され、2030年までにプラスチックの再生利用を倍増することを目指しており、2035年までに使用済みプラスチックを100%有効利用することがマイルストーンとされています。また、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案」が2021年3月9日に閣議決定され、特定のプラスチック製品の有料化や、市区町村、排出事業者による分別収集、再製品化の促進

が求められます。2020年10月には、企業のオフィスや工場から出る包装資材や建材等、様々なプラスチックごみについて、大口排出する事業者にはリサイクルを義務付ける政府の方針も決定され、事業者の排出責任は年々強まっています。

## ■ 「恐竜エコメダル」の原料となるペットボトルキャップを東京ドームシティで回収中

CirculeX ごみ袋が会場で使用されている東京ドームシティの「ジュラシックバレー」(場所: Hi!EVERYVALLEY)では、恐竜をテーマにしたワークショップを開催しています。ワークショップでは、回収したペットボトルキャップを原料とした CirculeX 製「恐竜エコメダル」と、石灰石を主原料とした LIMEX (ライメックス) 製「恐竜エコバイザー」をセット (300 円) で販売しています。なお、「ジュラシックバレー」では期間中、ペットボトルキャップを回収しています。

ジュラシックバレー詳細サイト: <https://www.tokyo-dome.co.jp/hi-everyvalley/event/jurassic-valley.html>

開催日: 7月22日(木) - 9月5日(日) 期間中の土日祝、および8月10日(火) - 8月16日(月)



ペットボトルキャップを粉砕する機械



恐竜エコメダル (CirculeX 製)



恐竜エコバイザー (LIMEX 製)

※画像はイメージです

## ■ CirculeX (サーキュレックス) とは

TBM は、使用済みプラスチック製品や LIMEX 製品を再び資源として活用する新たなブランド「CirculeX」を 2020 年 7 月に立ち上げました。CirculeX は、再生材料を 50%以上含む素材です。世界全体で高まる再生材料やプラスチック代替素材へのニーズに応えるべく、CirculeX を資源循環を促進する素材として幅広い領域での製品開発を目指し、国内外に展開してまいります。また、使用済みのプラスチック製品や LIMEX 製品の回収を促進する一般生活者向け「CirculeX アプリ」のサービスを 2021 年 1 月より開始しました。消費者の皆様は回収拠点にてアプリを通じてごみを「CirculeX ポイント」と交換することができ、TBM が運用する EC サイト「ZAIMA (ザイマ)」や社会貢献団体への寄付として使用することが可能です。

## ■ LIMEX (ライメックス) とは

LIMEX は、炭酸カルシウムなど無機物を 50%以上含む、無機フィラー分散系の複合素材です。世界 40 ヶ国以上で特許を取得しており、COP や G20 の国際会議で紹介される他、日本の優れた技術として、UNIDO (国際連合工業開発機関) のサステナブル技術普及プラットフォームに登録されています。プラスチックや紙の代替製品を製造する際に使用する石油や水や森林資源など枯渇リスクの高い資源の保全に貢献することが可能です。

\*LIMEX は無機成分を主成分とする無機・有機複合マテリアル (JSA-S1008)、JSA 規格の対象

## <LIMEX の特徴>

- ・ 石灰石は資源輸入国である日本においても自給率 100%、地球上に非常に豊富に存在する資源です。
- ・ 石灰石は一般的なプラスチック（PP）と比較して同体積の焼却時に CO<sub>2</sub> を約 58% 排出削減出来るため、プラスチック代替素材の主原料として石灰石を用いることで石油由来プラスチックの使用量を抑え（リデュース）、焼却時の CO<sub>2</sub> 排出量を削減できます。
- ・ ライフサイクルアセスメント（LCA）という科学的分析手法を用いて、製品の原材料調達から生産、流通、使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおける環境影響を算定し、素材開発に活用しています。

## ■ 株式会社 TBM

---

代表取締役 CEO：山崎敦義

本社：東京都中央区銀座 2-7-17-6F

設立：2011 年

資本金：234 億 2,993 万円（資本準備金含む） / 2021 年 7 月時点

事業内容：環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL：<https://tb-m.com/>

- ・ 2013 年 経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択
- ・ 2014 年 国内特許を取得し、現在、日中米欧を含む 40 か国以上で登録。その他 100 件以上の特許出願を実施
- ・ 2015 年 宮城県白石市に年産 6,000 トンの LIMEX を製造する第一プラントを建設
- ・ 2015 年 経済産業省の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（製造業等立地支援事業）」に採択
- ・ 2016 年 米国シリコンバレーの「Plug and Play」で初の『世の中に最も社会的影響を与える企業ソーシャルインパクトアワード』を受賞
- ・ 2018 年 COP24（第 24 回国連気候変動枠組条約締約国会議）に日本政府代表団として参加
- ・ 2019 年 軽井沢で開催された「G20 イノベーション展」に出展。G20 大阪サミット 2019 の会場での運営品として LIMEX 製品が採用
- ・ 2019 年 中国・河南省、モンゴルでの LIMEX 事業化に向けた基本合意を締結
- ・ 2019 年 代表取締役 CEO の山崎敦義が、「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2019 ジャパン」Exceptional Growth 部門「大賞」を受賞
- ・ 2020 年 使用済みプラスチックなどの再生材料を 50%以上含む素材「CirculeX（サーキュレックス）」を発表
- ・ 2020 年 100%再生可能エネルギーの電力を LIMEX の生産拠点に導入
- ・ 2020 年 BtoC 向けの EC 事業「ZAIMA」を開始
- ・ 2021 年 宮城県多賀城市に年産 23,000 トンの LIMEX を製造する第二プラントを建設

---

\*本リリースに記載された会社名及び商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

---

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 TBM コーポレート・コミュニケーション本部 酒井菜摘 / 経営企画本部 土井英人 営業本部 堀内雅貴  
TEL: 03-3538-6777 Email: [infomail@tb-m.com](mailto:infomail@tb-m.com)